

## 継／養親の血縁意識

### ——継／養子と血縁がないことに対する意味づけ——

久保原 大（東京都立大学）

#### 1. はじめに

婚姻の4組に1組は再婚といわれるように、ステップファミリーは増加している。ステップファミリーは、非血縁親子関係だけでなく、同居していない実親や新たに生まれた子どもとの関係など、初婚継続家族にはない複雑な親子関係が形成される。ステップファミリーの血縁／非血縁親子関係を血縁意識からとらえることの重要性は久保原（2021）で指摘したが、本報告では実際にステップファミリーを形成した継／養親の血縁意識を検討する。

#### 2. データと方法

本報告では、2023年11月に民間調査機関により行ったインターネット調査の結果をもとに分析を行う。対象者は400名（男性278名：女性122名）。年齢27歳から59歳。調査結果の属性クロス集計と設問間クロス集計および回答理由による分析から、継／養親の血縁意識を検討する。

#### 3. 結果

久保原（2022）では、ステップファミリーを経験していない人の血縁意識を検討した。その結果、「あなたは、『親子である』ことにとって、『血のつながりがある』ことは、どのくらい重要だと思いますか？」という設問に対して、男性は、「非常に重要である」29.4%、「ある程度重要である」36.2%、「あまり重要ではない」23.8%、「まったく重要ではない」10.6%、女性は、「非常に重要である」17.8%、「ある程度重要である」46.8%、「あまり重要ではない」29.8%、「まったく重要ではない」5.6%で有意差が見られた。そして、実際にステップファミリーを形成した人に同様の調査を行った結果、男性は、「非常に重要である」33.1%、「ある程度重要である」39.9%、「あまり重要ではない」18.7%、「まったく重要ではない」8.3%、女性は、「非常に重要である」36.9%、「ある程度重要である」36.1%、「あまり重要ではない」17.2%、「まったく重要ではない」9.8%で有意差は見られなかった。また、ステップファミリー形成前と形成後で血縁意識が変化したかどうかについては、男性は、「変化した」19.8%、「変化しなかった」80.2%、女性は、「変化した」23.8%、「変化しなかった」76.2%で有意差は見られなかった。そのうち、ステップファミリー形成前には「非常に重要である」と思っており、ステップファミリー形成後にその意識が変化したと回答した人は、男性が、26.1%、女性は、31.1%であった。

#### 文献

久保原大、2021、『血のつながりと家族のかたち—わたしたちが血縁を意識するとき—』晃洋書房。

———、2022、「血縁意識を構築する因子についての一考察」『人文学報』518-1: 107-24。

#### 付記

本報告は、JSPS 科研費 23K12601「ステップファミリーにおける継／養親の血縁意識」（研究代表者：久保原大）の研究成果の一部である。

（キーワード：ステップファミリー、非血縁親子関係、血縁意識）